



先輩の話を聞く会

2月15日(水)、高等部では「先輩の話を聞く会」が開催され、イオンつがる柏店に勤務している石田千賀さんと、人事総務課長の渋谷亜優子さんに講師をお願いしました。

当日は、大雪予報が出ていましたが、時折晴れ間ものぞく穏やかな天気となり、石田さんは「愛車」に乗って、自分で運転して来校しました!!



石田さんは、去年の4月からイオンつがる柏店の惣菜部門に勤務しています。現在は、8時～15時の勤務で、出勤すると、すぐに「オリジン弁当」のパック詰めを行います。その際には、衛生面やミスがないよう気を付けることはもちろん、お客様が買えるように、できるだけ早く商品を準備することを目標にして仕事をしているそうです。午後には揚げ物などのパック詰めや値段付け、そして店頭に並べる仕事に取り組んでいます。

高等部を卒業後、仕事の優先順位を考えるようになったと話してくれました。惣菜部門で優先順位というのは、どういう時に出てきますか?と質問したところ、「(店頭に並べてある)商品の売れ具合を見ながら、(残りが少なくなっていたり、よく売れている商品など)どの商品を先にパックするか、考えて仕事をしている」とのことで、「職業人」としての意識に驚かされました。

生徒たちからの質問で多かったのは、「大変なことは何ですか?」「働く上で大切なことは何ですか?」「何に気を付けて仕事をしていますか?」というものでした。惣菜部門ということもあり、お盆やお正月のオードブル作りは大変だったそうです。惣菜部門の担当者で協力し、150個以上のオードブルを完成させたとのことで、大変だったけど、やりがいもあり、今年1年の中でもっとも印象に残っているとのことでした。働く上で大切にしていることは、「挨拶と、周りの方とのコミュニケーション」をあげていました。さらに、ただ与えられた仕事に取り組むのではなく、「自分なりの目標をもって仕事に取り組むようにしている」という言葉が印象的でした。



休日の余暇の時間も充実しているようです。車の免許を取得したことで、活動範



囲も広がり、買い物へ行ったり、スノーボードへ行ったりしているとのことでした。

また、給料をもらうようになり、自分の欲しいものや、やりたいことができるようになって、家族で東京ディズニーリゾートへ旅行に行ったそうです。今は、友達と東京へ旅行に行くという夢に向かって、コツコツお金を貯めているとのことでした。



生徒たちは、石田さんの話を聞いて、挨拶や周りの方とのコミュニケーションを大切にしなければいけないということを改めて感じるとともに、卒業後は、「働く」だけではなく「余暇」の時間を楽しみ、気持ちをリフレッシュさせながら仕事に取り組むことの大切さにも気付いたようです。



渋谷さんからは、「石田さんは、何か分からないことがあっても、すぐに質問するなど、周りのスタッフとのコミュニケーションも取れており、仕事上、とても助かっています。今後は、オープンやフライヤーの使い方を覚えて、さらにステップアップし、任せられる仕事を少しずつ増やしていけるよう、従業員の一人としてチャレンジしてほしいです」と期待を込めたお話がありました。

進路講話

2月16日(木)、ジョブカフェあおもりのキャリアカウンセラー 一戸亜依さんを講師にお招きし、高等部3年生を対象とした進路講話「働く上で大切なこと」が行われました。

一戸さんは、働く上で大切なこととして、「マナーとは何かを知っておきましょう」「働く時は必ず、報告・連絡・相談をしましょう」の2つをあげ、その中身について、具体的にお話してくださいました。

3年生は、2月に入ってから移行支援会議に参加しているため、少しずつ「卒業後は働くんだ」という気持ちが強くなってきているようです。そのため、一戸さんからの話は、とても身近な内容で、生徒たちは熱心にお話を聞いていました。今回は、進路講話の内容を一部ご紹介したいと思います。

1, マナーについて

マナーとは、みんなが気持ちよく過ごすための、ちょっとした知恵や思いやりのことです。中でも、身だしなみを整えることや、挨拶を元気よく心を込めて行うことが大切です。

挨拶も社会人としての基本的なマナーです。相手により印象を与える挨拶とは・・・

あ・・・あかるく、あいてを見て
い・・・いつでも元気よく
さ・・・さきに
つ・・・つづけて一言

「やってみよう!」

相手に声を掛けられてからの挨拶より、自分から、いつでも元気に、明るく挨拶ができるといいですね。

「〇〇さん、おはようございます。」「おはようございます。いいお天気ですね。」など、挨拶にプラス一言があると、よりよい挨拶になるそうです。

宣言後礼(せんげんごれい; 言葉を言い終わってから、お辞儀をすること)を意識しましょう。

2, ホウ・レン・ソウについて

働くとき、給料をもらいますが、それには責任が伴います。つまり、きちんと仕事をするということと、分からないことがあったらすぐに聞く、すぐに報告する、働く場のルールに従うことが大切です。中でも、失敗をしてしまった時や分からない時の「ホウ・レン・ソウ」はとても大切です。

ほうこく・・・悪いことほど、急いで知らせる!
れんらく・・・いつ・誰に知らせるか考えて
そうだん・・・できるだけ早いうちに!

「やってみよう」

「ホウ・レン・ソウ」は、言いにくいことが多いのですが、できるだけ早く(悪いことほど急いで!)行うようにしましょう

生涯学習と同窓会

「生涯学習」という言葉を、どこかで耳にしたことがあるかと思います。文部科学省によると、生涯学習とは、生涯に行うあらゆる学習のことです。「学習をする」最大の機会は、学校教育ですが、学校を卒業した後も、社会教育、スポーツや趣味など身近で学ぶことのできる機会はたくさんあります。

みなさんは、どんな「生涯学習」に興味がありますか？ダンスやスイミングなど、身体を動かすことが好き！という方もいるでしょう。物作りや料理が好きという方もいるのではないのでしょうか？生涯学習は、学びたいことを学ぶ、やりたいことをやるというものです。学校を卒業し、仕事から帰ってから、また、休日にスポーツや趣味を楽しみ、自分の人生を豊かにしていくことができるよう、「自分はこんな学びがしたい」と希望を伝えていくことが必要です。しかし、障害のある人が学べる場については、十分にない、あるいは配慮されている場が少ないのが現状です。

そこで、本校では、同窓会及び障害者青年学級として、年3回（7月、9月、11月）に様々な活動に取り組んでいます。

今年度は、7月の同窓会で Zoom 講座を開催しました。



新型コロナウイルス感染症のため、同窓会も集まることができない状況が続いていたので、そんな時は「オンライン」でできるようにしよう！ということで、実際にタブレットやスマホを使っての講座でした。参加された卒業生のみなさんは、理解が早く、講師の先生を驚かせていました。

9月には、弘前市のハンドメイドプレイス Rin～輪～代表の二木さんと、高橋さんに講師をお願いし、ハーバリウム制作を行いました。



ハーバリウムを作るのは初めてという人ばかりでしたが、みんな興味津々で、講師のお話を聞いて、ドライフラワーを選び、配置を考えながら瓶の中に入れ、「世界に一つだけのハーバリウム」を完成させました。

同窓会は年に3回の開催ですが、卒業後の生涯学習の場として、スポーツや趣味的な活動を今後も計画していく予定です。生涯学習は、知識やスキルを習得できるだけではなく、私たちの人生を豊かにするために不可欠だと言えます。卒業後の生活をイメージする時に、ぜひ同窓会へ参加する姿も想像してみてください。